

業界ダントツNo.1 FAX機械情報 全国5,000ホール配信 無断での転載は
お断り申し上げます。

号外版 データCOMPASS 2014/5/19 第18号
コンパス

GLOBAL Amusement グローバルアミューズメント株式会社 TEL 0120-519-113
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-12-2 クロスオフィス渋谷8F FAX 03-6805-1029

～パチスロ部門の業績アップのツボ～ パチスロは“売上&粗利率”を觀よう!!

グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。
(雑誌 PIDEAIにて“データDYNAMITE High School”を好評連載中)

社
長
青
山



皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。

早速ですが、7月22日(水)「パチスロ必殺仕事人」、8月お盆明け「CRパチンコAKB48
パート2」という発売打順でほぼ確定となったようですね。先週迄の話とは、打順が
逆になったようですので、特に勉強会にご参加頂いた皆様、情報のバージョンアップをお願い
しますね。(勉強会参加企業様なら、もう、皆さん、知ってますか)
本日はパチスロ粗利確保について考察記事をご提供いたします。宜しくお願い申し上げます。

■パチスロ部門の薄利は“暴発”が問題ではない!!

先日、名古屋の勉強会でM村さんに「パチスロ部門の薄利状態を何とかしてほしい、モン
ハンのように“稼働は良くても粗利は全く取れない機種”を○としてしまったらホールは立ち
行かなくなる。また、何か対応策はないか？」との、ご質問を頂きました。私は、以前からパチ
スロは“プレイヤー”、“ホールのパチスロ担当者”、“メーカーの開発者”のいずれも、社会性
に欠けたオタクが多く、矛盾だらけの自己都合の話を平気で押し付ける人が多いため、現状
のような「稼働するけど、儲からない」という“事業としての矛盾”がおこっていると考えています。
「プレイヤーが喜ぶからいいじゃん」等と、ダメな開発者がいいそうですが、「凄く甘いから遊ぶ」
という機械に頼り続けること自体が、“娯楽ビジネス”としての概念を大きく逸脱をし、市場の
成長を阻害する発想です。しかし、オタクには何言ってもムダでしょう。問題は、オタク任せの

状況を許している、“業界人全体のパチスロに対する不勉強体質”で、お金をもらってセミ
ナーをやっているコンサルタントですら、多くが“パチスロは暴発するから粗利が取れない”等
と、アホなことを言っている状況では、“買い手側の知識<オタクの欲求”という構図は変わる
ことなく、何度も同じ間違いを繰り返すと私は予想しています。

■暴発ではなく、“直ぐに高粗利率になる機械性能”が問題!!

まず、私は“暴発”という言葉が嫌いです。何ですか？暴発って？プレイヤーが万枚出したら
「不具合扱い」ですか？じゃ、私が遭遇したCRキン肉マン2の1800回嵌りは何ですか？
そっちは「不具合扱い」しないんですか？都合の悪いことがあるとピンポイントでそこだけ
持ちだしてワ、ワ騒ぐのはホール関係者の悪い習性です。たまに吹くのはどうでも良い
話です。平均すると、そこそこ取れている機械は良いのです。問題は、「稼働していても、必要
な利益が継続的に取れない機械」です。このタイプの機械が増えている理由は、ホールが低
売上機(コイン単価が低い機械)を好むことが影響が大きいと考えています。皆様、以下の
①・②では、どちらがプレイヤー、ホールの双方にとって良い機械ですか？

①台粗利平均 7,000円 / イン枚数平均 8000枚 / 台売平均 36,000円

②台粗利平均 7,000円 / イン枚数平均 9000枚 / 台売平均 27,000円

え、「そりゃ、IN枚数が高い②だろ!!」って？あなたホント大丈夫ですか？①は粗利率
19.4%に対し、②は粗利率25.9%、同じ粗利額を得られるのなら、プレイヤーの勝率が高い
方が良いに決まっているじゃないですか？そんなんだから、あなたのお店からお客さんが
減るんですよ。もっと勉強してください。結局、低売上の機械が増えると、粗利率が高くな
らないようにするためには、甘くするしかなくなります。コイン単価の低い低売上機は「お金を
使いたくない」というピンボーオタク向けの機械なので、導入直後の3週間くらいは、稼働が維
持され易いですが、粗利率が高くなるので、継続的に遊技されません。つまり、パチスロ部門
内で撤去台を選ぶ時、“高売上・高粗利・低粗利率”の機械があれば、仮にイン枚数がちよっ
と低くても残す方が正しいといえますし、逆に稼働がそこそこあっても“低売上・低粗利・高粗
利率”の機械は、適度に見切りをつけることが大事だと考えます。この考え方で外す機械を選
んでいくと、パチスロ部門全体の低収益体質はちょっと改善されます。でも、本質的には低売
上機を好む“ピンボーオタク気質”が改善されて、1/399くらいで中途半端な払い出しがなくて
も間持たせをしっかりとできるパチスロ機が増えないと、本質的には改善されないですけどね。
ちょっと市場を分析したら、私の言う話が正解だとわかるので、メーカーは少しはマーケティ
ングを勉強してください。勉強は業界を救う!! 本日はこれまで!!

【本会員申し込み受付中】

偏差値70以上over 『勝てる械評価勉強会』

※強いホール作りに必要な知識・判断材料を1つ1つ丁寧に勉強する偏差値70の勉強会です。

毎月、
第一講座：市場分析講座
（年間カリキュラム）
第二講座：体育講座
第三講座：機械評価講座
の3講座を開催します!!



講座時期	第一講座(市場分析講座)テーマ
4月講座	パチンコ&パチスロ 年代別参加人口調査 2014 終了!!
5月講座	ホールビジネス 季節性研究
6月講座	データで理解する、パチンコ新台商品評価のポイント講座
7月講座	データで理解する、パチスロ新台商品評価のポイント講座
8月講座	客数低下期対策
9月講座	勝てる低玉貸し研究
10月講座	3番店&4番店の戦い方
11月講座	2015年 業界トレンド予測
12月講座	2015年 商品トレンド予測
2015年1月講座	高稼働店VS低稼働店 パチンコ機械回転率研究 2015
2015年2月講座	高稼働店VS低稼働店 パチスロ機械回転率研究 2015
2015年3月講座	機械減衰トレンド分析(機械寿命分析)

【詳細確認・お申込みは弊社HPからお願いいたします】

<http://www.global-am.co.jp>